

平成 27 年度 第 4 回福岡県助産師会スキルアップ研修会実施報告書

「助産師が実践できる性教育」

講師：嶋井元子助産師、木下広江助産師

平成 27 年 10 月 24 日に第 4 回スキルアップ研修会が開催されました。

今回は、北九州市において「思春期健康教室」を実践されている講師の方々の講義と実演で構成された研修会でしたが、性教育に関心を持つ助産師と助産師学生が多数参加し、助産師としてできる性教育について考える貴重な機会となりました。豊富な経験に裏付けられたエネルギッシュな取り組みの様子と、子どもたちに「命の大切さを感じてもらう」という揺るぎない信念のともに行われている実践例からは多くのことを学ぶことができました。思春期の子どもたちの性に対する考え方や態度の現状、そんな子どもたちに愛情を持って柔軟に対応しながら性教育を実践されている嶋井講師と木下講師のご活躍に、同じ助産師として誇らしさを覚えました。

この研修会における一貫したテーマは「助産師としてできる性教育とは？」という問いだったように思います。明るい未来のために、今思春期にある子ども達を何とかしなければいけないという切実な思いのもと、行政との協働で始まった事業の中での性教育。そこで果たす助産師の役割の大きさ。性教育は助産師の専門性を生かすことのできる活動の一つですが、学校における性教育については、よく分からないことも多いのが実情です。実演例では、小学生に子宮の中をイメージさせる工夫、妊娠中の幸せを感じてもらうための教材など、新しいアイデアやヒントを知ることができました。子どもたちに伝えられる「誕生日はお母さんが頑張った日」という言葉にも感銘を受けました。そして私たち助産師が、それぞれの職場あるいは立場でできる性教育について探究し挑戦していく必要があることを改めて考える機会となりました。



(文責：教育委員 後藤智子)